

そっとおとどけ 2023年8月号 Vol.230

筑豊文庫資料室講演会

上野英信生誕 100 年

伝えていく沖縄・筑豊 次の世代へ 希望をこめて

上野英信が描いた沖縄・筑豊の歴史や文化を次の世代にどのようにつないでいくのかを、沖縄の中学生と筑豊の高校生の朗読を交え、考えていきます

日時：8/19 (土) 10時～12時

会場：ユメニティのおがた小ホール 先着順 無料

申込：7/18 (火) ～

電話または図書館のカウンターにて受付

直方市立図書館

直方市山部 301-11 ☎ 0949-25-2240

<http://www.yumenity.jp/library/top2.html>

開館時間 (8月のみ)

平日 (火～金) 10:00～19:00

土曜 9:30～19:00 日曜 9:30～17:00

祝日 10:00～17:00



❀新規雑誌購入「住む。」❀

「住まいの設計」が休刊となったため、雑誌を購入しました。住まいと暮らしにかかわる知恵や工夫を楽しく知ることができる雑誌です。年4回発行。

展示案内

〈一般〉

★本でリフレッシュ
～癒しの時間～
(7/27～9/26)

〈児童〉

★この夏、何よもう？
(7/27～9/26)

図書館 カレンダー・イベント

【8月】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

〈8月〉

- 5(土) 14時～ おはなし会 (やまびこ会) ♡
- 18(金) 10時15分～ 大人の朗読講座 ●
- 19(土) 10時～ 筑豊文庫資料室講演会 ★
- 20(日) 10時～ おもちゃ病院 (※受付13時まで) ♪
- 26(土) 11時～ 大人向けおはなし会 (まほうの箱) ♡
- 27(日) 11時～ おはなし会 (図書館職員) ♡

【9月】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

〈9月〉

- 9(土) 14時～ 認知症カフェ図書館△
- 12(火) 11時～ 乳幼児向けおはなし会 (麦のこ) ♡
- 15(金) 10時15分～ 大人の朗読講座 ●
- 16(土) 11時～ おはなし会 (赤ずきん) ♡
- 17(日) 11時～ おもちゃ病院 (※受付13時まで) ♪
- 14時～ おはなし会 (れろの会) ♡
- 24(日) 11時～ おはなし会 (図書館職員) ♡
- 14時～ ブラックパネルシアター (なのはな教室) ★

太字は17時閉館、■はお休み、

○はイベントのある日です

♡…図書館おはなしコーナー ★…ユメニティ小ホール ♪…図書館前ロビー

●…筑豊文庫資料室 △…ユメニティ会議室2

8月号のテーマ **パーティー**

毎月、図書館司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。【】はペンネームです。

「あら、そなの!」 高橋和枝/著 K913 タ

お誕生日のパーティーに招待された、ねこのプー。人間のパーティーなんて初めてです。仲良しのたまみさんに相談すると、ドレス、プレゼント、と次々に不安を解消してくれ、最後にとっておきのおまじないまで教えてくれました。

プーの初めてのパーティー、さてどうなるでしょう…?

【majakka】



「もっとおいしい紅茶を飲みたい人へ」 田中哲/著 596.7 タ

1年中飲める紅茶ですが、味や香りが最もよくなる季節、『旬』があるのを知っていますか? 茶葉や淹れ方の基本的な知識はもちろん、スーパー、カフェ、紅茶専門店などシーン別で、自分の好みや気分にあった紅茶を選べるようになるやさしいチャートつき。「おいしい」紅茶の知識と、自宅でも楽しめるペアリングやアレンジティーは、おもてなしにもぴったりです。

【アキ】



「きょうはパーティーのひ」 樋勝朋巳/文・絵 E 913 ヒ

パン屋のクネクネさん、今日はブティックシマさんのパーティーです。お気に入りのスカーフにハイウエストのタイツをはき、お祝いのパンにフラフープを持って、いざ出発! でも、強風でカレー屋さんの看板が飛んできたり、雨に降られたり、トラブルが続きます。さて、クネクネさんは無事にパーティー会場にたどり着けるのでしょうか?

シユールでかわいい「クネクネさんのいちにち」シリーズの1冊です。

【tm】



「グレート・ギャツビー」 スコット・フィッツジェラルド/著 村上春樹/訳 933 フ

毎夜のようにパーティを開くジェイ・ギャツビー。でも彼が何者なのか、なぜパーティを開くのか、近隣に住む誰も知らなかったのです。1920年代のアメリカ好景気下での大富豪たちの、派手で気だるい世界を読み進めるうちに、物語は悲劇へと向かいます。そして最後は…。華やかな中に見え隠れする哀しい世界。特にこの本では、訳者の村上春樹のこの物語への深い思い入れと翻訳へのこだわりについて書かれた巻末の文章も読みどころの一つです。



「変り兜」 橋本麻里/著 756.7 ハ

巨大な牛の角、ウサギの耳、象の鼻、孔雀の羽…パーティーか!とツッコみたくなるほど派手な装飾の変り兜は、室町時代に生まれ、戦乱の世に競うようにバリエーションを増やしていきました。機能性よりデザインを重視したのはなぜか。本書はその時代背景にも迫ります。わびさびとは違う日本の美を感じられる一冊。

【ペコ】